

収入の部 (単位 円)

費 目	H28年度予算	H29年度予算	残額(▲は減)	備考
会費	1,200,000	1,200,000	-	懇話会会計より
雑収入	-	-	-	
合計	1,200,000	1,200,000	-	

支出の部

費 目	H28年度予算	H29年度予算	残額(▲は減)	備考
I 執行部関係費	429,000	430,000	1,000	
1 執行部	45,000	40,000	▲ 5,000	※文房具(学級会用マーカー), 掲示物用紙を購入予定
2 専門委員会	25,000	30,000	5,000	ファイル, ノート
3 行事費	89,000	90,000	1,000	運動会・文化祭・3年生を送る会関係, 対面式・卒業式・離任式花
4 事業費	270,000	270,000	-	生徒活動の歩み48号制作
II 部活動関係費	744,000	760,000	16,000	
5 野球部	80,000	50,000	▲ 30,000	※部員数は比較的少ないが, 部の備品の種類が多い上高額。また個数も必要なため
6 サッカー部	50,000	50,000	-	※備品(ユニフォーム等)が高額なため
7 バレー部	40,000	40,000	-	
8 バスケット部	75,000	100,000	25,000	※男女 競技のルール改正に伴う備品(デジタイマー)購入のため
9 テニス部	95,000	100,000	5,000	※男女 部員数が比較的多く, また, コート整備費がかかるため
10 卓球部	105,000	110,000	5,000	※男女 部員数が比較的多く, また, 多球練習のため練習球購入が必要なため
11 陸上部	35,000	40,000	5,000	※駅伝部と合わせて, 男女額相当
12 剣道部	45,000	40,000	▲ 5,000	※男女で兼ねられる道具が主なため減額
13 新体操部	35,000	40,000	5,000	
14 科学部	29,000	30,000	1,000	
15 吹奏楽部	90,000	90,000	-	※楽譜など消耗品購入予算が不足している
16 茶道部	30,000	30,000	-	
17 駅伝部	35,000	40,000	5,000	※陸上部と合わせて, 男女額相当
III 予備費	27,000	10,000	▲ 17,000	
合計	1,200,000	1,200,000	-	

※予算編成の基本的な考え方
 ・基本額の設定(運動部40,000, 文化部30,000)
 ・種目特性や協会との関係により, 基本額を増減
 ・水泳部等の活動で必要な場合は予備費を充てる

- 1, 開会の言葉
- 2, 生徒会長あいさつ
- 3, 議長, 副議長紹介
- 4, 議事

(1) 前期生徒会活動方針

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ① 前期生徒会スローガン | ④ 学年の[架け橋]になる交流活動 |
| ② [Piece]を生かす学級会について | ⑤ みんなの未来に[架ける]活動 |
| ③ さわやかマナーについて | ⑥ [架け橋]になる広報活動 |

(2) 前期専門委員会活動方針

- ① 生活委員会・学習委員会・図書委員会
- ② 保体委員会・給食委員会・福祉委員会

(3) 平成 29 年度生徒会会計予算案

- 5, 議長, 副議長解任
- 6, 連絡

- | | |
|-----------------|--------------|
| ① 靴について | ③ 汗拭きシートについて |
| ② キーホルダーの使用について | ④ 合服, 夏服について |

- 7, 生徒会副会長あいさつ
- 8, 閉会の言葉

① 前期生徒会スローガン【 Piece ~未来へかける~ 】



生徒会 H29 年度前期スローガンは
 「Piece ~未来へかける~」
 私たちは生徒一人一人が個性を出し, 尊重していきける学校を目指したいと考えています。

生徒一人一人の「Piece」が大事で一つも欠けてはならず, 自分自身が学校を創っていきます。
 そしてすべての Piece が一つに集まったとき, 学校生活は一人一人が主体となりより良いものになると思います。

そこで未来へかけるの「かける」の字に 2 つの意味を込めました。
 一つは疾走するという意味の『駆ける』。 もう一つは橋を渡すという意味の『架ける』。
 Piece《自分自身》がそれぞれの特徴を活かし, クラスや学校を創り, 未来へ向かって駆けていくこと。
 そして多くの先輩方が創ってくださった歴史を未来へ橋を架けるように成長させながらつないでいくという意味を込めています。

前期生徒会活動方針

② [Piece]を生かす学級会について

限られた時間のうち、より多くの時間を一番重要な話しあいに使えるように改善しました。その結果、意見を言う機会も増えることになり、一人一人の意見が学校に届きやすくなります。

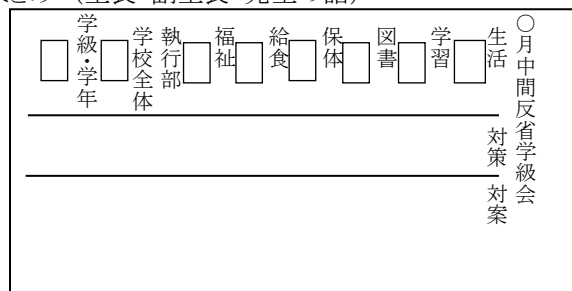
また、「その他」でなく「学級・学年」に変更し、より具体的に意見が出やすい仕組みにしました。

この方法をベースとし、各クラスでアレンジしてもらえば良いです。更に良い方法があれば、生徒委員会で共有し、より良い学級会を目指しています。

そして、誰でも意見を言えるクラスの空気をつくることも大切です。

【流れ】

- 1、はじめに(室長挨拶など)
- 2、班での振り返り …1班につき1テーマで話し合う。
何について話し合うかは室長が指示する。
班ごとに配布されたホワイトボードに記入。
- 3、黒板に提示
- 4、追加や補足
他の班から出た意見や状況について話し合う。
- 5、意見の分類
室長を中心に個人で捉える現状課題なのか、学級全体で捉える現状課題なのかなど、**学級の優先順位を考える。**
- 6、改善案や意見
今後、どうしていくか考える
- 7、まとめ(室長・副室長・先生の話)



③ さわやかマナー

附中的一員として、附中生らしく一人ひとりがあるように、今までの活動を継続して行います。

○朝ボラ活動、あいさつ運動

…毎朝、校門・裏門・生徒玄関前に執行部が立ち、あいさつ運動を行い、裏門では朝掃除も行う。

○マナーアップキャンペーン

…テスト期間などに集団下校時に校門、学校前のバス停、鳥取大学前駅に執行部が立ち、あいさつ活動とマナーの呼びかけをする。

話に夢中の人、声が小さい人もいます。さわやかなあいさつができる附中生を目指したいと考えています。

④ 学年の[架け橋]になる交流活動

様々な行事で縦割り活動を行っていきます。

共に、活動をするだけでなくメッセージを送りあったり、応援し合ったりして交流を深めます。

○運動会メッセージ

…運動会の縦割り競技が終わった後の感想や反省を縦割りで交流し、全校生徒で運動会を創り上げます。

⑤ みんなの未来に[架ける]活動

一人ひとりの学校生活の改善を目指します。これをきっかけに日々の暮らし方を見直し、ここで身に付けた附中生らしさは必ず、未来を明るくします。

○生徒会長杯の継続

…名札の着用や授業2分前着席などの徹底を目指す。各専門委員会が連携し、取り組みの時期を集め、意識の向上を図ります。

⑥ [架け橋]になる広報活動

生徒会について、生徒一人一人の活躍への関心を高めるため、広報活動を推進します。

また、学校と社会、保護者の方、OBの方、地域の方、いろいろな方との架け橋になることを目指して、活動をします。

○生徒会新聞 … 月1回、月の行事や出来事を中心に。

連絡事項

○靴について

①色は黒・白・紺・グレー・茶・ベージュとします。ひもの色も①同様

○キーホルダーの使用について

◎自分のものを見分けるための使用

①大きすぎないこと

②個数は1個。定期券や反射板などの登下校や安全のために必要なものは除外する。

③余計なもの、音が鳴るものはつけないでください。

○汗ふきシートの使用について

①必要な人だけ使用する

②シートは無香料限定

③使用後は必ず持ち帰る

④使ってもよい時間帯は**体育と部活の更衣のときのみ**

⑤体育の後は**正副室長が確認**する

⑥部活動の後は**部長、副部長が確認**する

⑦パッケージに**必ず記名**する

⑧**責任者表**をつくり、**教室に掲示**する

なお、教室で更衣する部活については、**責任者を各部で置き、戸締り、消灯を含めて確認**する

一人ひとりが自覚を持ち、
正しい判断力を持って行動してください

⇒制汗スプレーは絶対に持ってこないこと

・**執行部** … 使用状況が悪いようであれば、話し合いをして**改善策を提示**する

⇒改善されないようであれば、**平成26年度までのきまり(一切使用しない)に戻す**

○夏に向けて～制服に関する規定の確認～

合服

<男子>

白長袖カッターシャツ

長ズボン

<女子>

濃紺ベスト

濃紺スカート

白長袖カッターブラウス

棒タイ

または

白長袖カッターブラウス

濃紺スカート

夏服

<男子>

白半袖カッターシャツ

長ズボン

<女子>

白半袖カッターブラウス

濃紺スカート

*名札は必ず着用しましょう。

附中生らしさを意識して、自分で判断してください。

